

令和7年度補正予算 重点支援地方交付金の活用状況について

兵庫県芦屋市

■実施状況

<令和8年6月時点>

交付限度額	5億6464万円
うち令和7年度 交付決定額	2億3109万円 (41%)
うち令和8年度 交付決定額	3億3356万円 (59%)
残額	0円 (0%)

■主な事業概要 ※規模の大きい事業を最大5つ程度記載（詳細は別途実施計画をご覧ください）

生活者支援

◆物価高騰による負担を軽減するためのキャッシュレス決済ポイント還元事業 事業費（予算）：2億30万円 ※食料品特別加算を活用

食料品等の物価高騰に直面している生活者の負担を軽減するとともに市内経済の活性化やキャッシュレス決済の普及促進を図る観点から、市内の店舗（大手チェーン店を除く）でキャッシュレス決済を行った者に対し、一定のポイント（還元率20%・上限1,000円/回、6,000円/実施期間）を付与するもの【令和8年2月実施】。

◆水道の基本料金及び下水道の基本使用料の減免による物価高騰対策支援事業 事業費（予算）：3億6,900万円

物価高騰による影響を受ける市民・市内事業者等を支援するため、水道基本料金及び下水道基本使用料の減免（2期4か月分）を行うもの。なお、公共施設を対象に含んでいない【令和8年6月～9月検針分】。

事業者支援

◆介護保険サービス事業所等に対する物価高騰対策支援事業 事業費（予算）：6,079万円

物価高騰による影響を受ける市内の事業所等（障がい福祉サービス事業所・施設等、介護保険サービス事業所、私立保育所等（認可施設）、障がい児通所支援事業所、放課後児童健全育成事業を実施する事業所（市が運営するものを除く））に支援金を支給し、物価高騰下においても、市民生活に必要な福祉サービスの安定的な提供を図る。

◆省エネ設備導入のための大規模改修促進事業（エネルギー等の物価高騰を踏まえた市内中小企業等への支援）（令和8年度） 事業費（予算）：400万円

エネルギー等の物価高騰によって経営状況の悪化に直面する市内の中小企業や社会福祉法人の経営状況を向上させるため、市内に有する事業所への省エネ性能の高い設備導入に必要な大規模改修費用に対して補助をするもの。光熱費の削減を推進するとともに、あわせて市内の温室効果ガスの削減を推進する。

※事業費の全部又は一部に本交付金を充当予定